

平成 20 年 4 月 15 日

各 位

西日本シティ銀行

「第 66 回九州の経営動向調査」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、四半期毎に当行のお取引先様のご協力を得て、経営動向調査を実施しております。このたび、第 66 回の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 調査対象企業について

- ・ 当行の主要取引先 764 社（回答企業数 345 社、回答率 45.1%）
- ・ 回答企業：福岡県内企業 81.4%、中小企業 81.4%

2. 景況感概要

- ・ 景況感については、全産業では 4 期連続「悪化」超幅を拡大した。製造業は 2 期連続、非製造業は 5 期連続「悪化」超となった。
- ・ 全産業とも、原油高、原材料の高騰、米景気変調、円高、株安等の懸念材料が高まり、景気回復に足踏み感が見られる。
- ・ 先行きについては、製造業・非製造業ともに総じて悪化の傾向が続く。

景況感 B S I

	19 年 1 月 ~ 3 月期	19 年 4 月 ~ 6 月期	19 年 7 月 ~ 9 月期	19 年 10 月 ~ 12 月期	20 年 1 月 ~ 3 月期	20 年 4 月 ~ 6 月期 (見通し)
製 造 業 (改善ポイント)	+8.7 (+0.1)	+11.2 (+2.5)	+8.3 (2.9)	3.2 (11.5)	18.6 (15.4)	12.8 (+5.8)
非 製 造 業 (改善ポイント)	2.3 (10.9)	6.2 (3.9)	9.3 (3.1)	7.9 (+1.4)	18.3 (10.4)	13.8 (+4.5)
全 産 業 (改善ポイント)	+0.6 (8.0)	1.8 (2.4)	4.5 (2.7)	6.5 (2.0)	18.4 (11.9)	13.6 (+4.8)

3. 個人消費の動向

現在の個人消費は「良い」と回答した企業が 2% に対し、「悪い」と回答した企業は 64% となっており、「悪い」超となった。前回調査と比べると「良い」が 8 ポイント減少、「悪い」が +16 ポイント増加した結果、前回より悪化となった。

また、先行きの個人消費についても、前回調査と比べると「好転」が 6 ポイント減少、「悪化」が +11 ポイント増加した結果、前回より悪化となった。

4. 設備投資について

平成 19 年度の設備投資見通しは、全産業計で前年度実績比 +10.3% の増加となった。

以上

詳しくはこちらでご確認いただけます。 [第 66 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問合せ先
審査統括部 野田（TEL 092-476-2781）